



森 麻季 ©Yuji Hori

FOCUS

3.22 [土] ちよっとお昼にクラシック 森 麻季 (ソプラノ)

日本を代表する歌姫がお贈りする、至福のひとつとき

文 高巢真樹

ランチタイムに、クラシック音楽を気軽にお楽しみいただく人気シリーズ「ちよっとお昼にクラシック」。3月には、透明感あふれる歌声と深い音楽性、圧倒的な歌唱技術で国内外の聴衆を魅了しているソプラノ歌手、森麻季さんが登場します！当館では、2003年の水戸室内管弦楽団第53回定期演奏会（指揮：小澤征爾）、05年のニュー・イヤーズ・コンサート以来のご出演となります。

世界を魅了するソプラノ歌手として

森麻季さんは、ブラシド・ドミンゴ世界オペラコンクールをはじめとする多数の国際コンクールで上位入賞後、現在に至るまで、日本が世界に誇る「歌姫」として活躍を重ねています。2007年にはドレスデン国立歌劇場の〈ばらの騎士〉、09年にはエディンバラ音楽祭の〈リナルド〉、10年にはイタリアのトリノ王立歌劇場〈ラ・ボエーム〉など、数々の国際舞台上で高い評価を得ています。

その歌声は、まるで天から降りそそぐように美しい「クリスタル・ヴォイス」。聴いた誰もが心を奪われてしまうような魅力を湛えています。それに加えて、オペラやリート、宗教曲、古典から現代まで網羅する幅広いレパートリーと深い音楽性、そしてどんな超絶技巧が要されるアリアも、精緻にコントロールされた音程で聴かせる卓越した歌唱技術まで兼ね備えている逸材。特に、オペラのアリア

などで披露される華麗な「コロラトゥーラ」は、森さんの代名詞とも言われるほど！このテクニックを駆使して、オペラのヒロインの感情を色鮮やかに描き出すのです。

オペラのアリアから日本の歌まで

この演奏会の幕開けを飾るのは、そんな森さんならではの選曲。19世紀前半のイタリア・オペラを代表する作曲家、ドニゼッティの歌劇〈シャモニーのリンダ〉より“私の心の光”。この曲は、シャモニーの村の娘リンダが恋の喜びを歌うソロです。幸福感に満ちた乙女心を、コロラトゥーラを駆使しながら軽やかに歌い、コンサート冒頭から客席を沸かせてくれることは間違いありません！その他、同じくドニゼッティの歌劇〈ランメルモールのルチア〉より、主人公ルチアが歌う“あたりは沈黙に閉ざされて”や、グノーの歌劇〈ロメオとジュリエット〉より、ジュリエットが天真爛漫に歌う“私は夢に生きたい”なども予定。オペラの醍醐味ともいえる名アリアをぎゅっと厳選してお届けします！

その一方で、森さんが近年大切に組み込んでいる日本の歌もお聴きいただきます。2012年にエイバックス・クラシックスからリリースされたCD『日本の歌〜花は咲く』（AVCL-25769）の序文で、ご自身の想いをこう綴っています。「…日本人が育んできた美德と日本らし

い美しさをいつも心に置き、どんな苦難も穏やかに乗り越えて行けるような、そんな強さとしなやかさを人生にも歌にも持てるようになりたいと願いながら、今回の録音をさせて頂きました。今回は、NHKの東日本大震災復興支援プロジェクトのテーマソング〈花は咲く〉のほか、中田喜直の〈さくら横ちょう〉、岡野貞一の〈朧月夜〉、越谷達之助の〈初恋〉など、日本のたおやかな詩情薫る作品をお届けします。その歌声は、私たちの心の中に眠っている幼き日の思い出や懐かしい情景を想起させ、そっと心に温もりを与えてくれることでしょう。

森麻季さんならではの多彩なステージを、週末のランチタイムにお届けするゴージャスな「ちよっとお昼」。お聴きのがしなく！

ちよっとお昼にクラシック  
森 麻季 (ソプラノ)

3/22 (土) 13:30 開演 (13:00 開場)

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM  
全席指定 1,500円 (1ドリンク付き)  
出演 森麻季 (ソプラノ)、山岸茂人 (ピアノ)  
曲目 ドニゼッティ：歌劇〈シャモニーのリンダ〉より“私の心の光”、歌劇〈ルチア〉より“あたりは沈黙に閉ざされて”  
中田喜直：さくら横ちょう  
別宮貞雄：さくら横ちょう  
岡野貞一：朧月夜  
越谷達之助：初恋  
菅野よう子：花は咲く (NHK「明日へ」東日本大震災復興支援ソング)  
パッハ/グノー：アヴェ・マリア  
グノー：歌劇〈ロメオとジュリエット〉より“私は夢に生きたい” ほか

## 3.29 土 「市民のためのオルガン講座」実技レッスン受講生による発表会

## パイプオルガンとじっくり向き合った受講生による“卒業演奏会”

文 高巢真樹

水戸芸術館では昨年11月から、パイプオルガンの演奏を学ぶ「市民のためのオルガン講座」を開講しています！講師は、当館音楽部門の元主任学芸員で、現在はオルガニストとして全国各地で活躍中の室住素子さん。基礎から丁寧に奏法を学ぶ「実技レッスン」と、気軽にオルガンを体験できる「一回体験コース」を行っています。昨夏に参加者を募集したところ、両コースあわせて約200名もの方からご応募いただきました。その中から選ばれた「一回体験コース」の参加者10名は、9歳から74歳まで幅広く、また「とにかくいろいろな曲をオルガンで弾いてみたい」方から「オルガン内部の構造に興味がある」という方までその興味はさまざま。それぞれの関心に最大限こたえようとする、室住先生の親しみやすいご指

導が大変好評をいただいております。

3月29日（土）に開催する発表会では、「実技コース」受講生として参加している10代から50代までの5名が登場！10回のレッスンを経て、その練習の成果を披露します。「パイプオルガンを習うことが生涯の夢だった」「故郷・福島の方が再生する日を願いながら、練習して練習して、自分を信じてオルガンを弾きたい」など、いずれも人一倍の熱意をお持ちの方ばかり。しかしほとんどの方が、パイプオルガンを演奏するのは初めてでした。ピアノとは弾き心地が異なる3段もある手鍵盤や、ずらりと並んだ足鍵盤、多彩な音色を備えたオルガン独特の構造や空間全体を満たす音響など、毎回新しい発見をしたり難しさに直面しながら、一生懸命練習を積み重ねてきました。発表会

で披露される曲は、それぞれの興味や長所を生かして選ばれたものです。

この演奏を、一人でも多くの方に温かく見守っていただければ幸いです！なおこの講座は、2014年秋～翌年春にも開講予定です。次回参加をお考えの方は、ぜひこの発表会にもお越しください。

「市民のためのオルガン講座」  
実技レッスン受講生による発表会

3/29（土） 13:00 開演

会場 水戸芸術館エントランスホール  
入場無料

曲目・出演者

■J.S. バッハ：パストラーレ BWV590（演奏：船橋茶由） ■バッヘルベル：シャコンヌ 二短調（演奏：藤枝祐二） ■J.S. バッハ：コラール前奏曲〈目覚めよと呼ぶ声がきこえ〉 BWV645（演奏：尹主憲） ■バッヘルベル：アリアと変奏 へ長調（演奏：永岡晶子） ■J.S. バッハ：トッカータとフーガ 二短調 BWV565（演奏：鈴木栄利）

self PORTRAIT  
茨城の演奏家たち

## 3.16 日 at 14:00 柴草幹男 フルート・リサイタル



前略。VIVOをご覧の皆様。柴草です。水戸芸術館コンサートホールATMで、いい演奏ができるよう、頑張っています♪なんてたって、一緒にステージに立ってくれる方々が素晴らしいミュージシャンなんです。ヴィオラの村井由紀さん、チェロの村井将さん、ギターの樋浦靖晃さん、皆さん本当に上手いんです！聴けばわかります！

チック・コリアの〈スペイン〉を

演奏しますが、4人のミュージシャンがその素晴らしい“個”を発揮できるよう、現在編曲中です。お楽しみに。

信長貴富さんの〈エレジアコ・エレキテル〉はフルート、ヴィオラ、チェロのための曲。初演メンバーで、今回お届けします。合唱の世界で絶大な支持を受けている信長さんの曲。勿論、器楽曲もすごくいい。スペシャルゲストとして、信長さんに来ていただく予定であります。生信長を見たい方、是非！

マチャド〈ペ・デ・モレーキ〉とピアソラ〈タンゴの歴史〉はフルート&ギターの定番曲。樋浦さんとは、もう何度も演奏している仲。息はピッタリであると自負しています。

ヴィラ＝ロボス〈ジェット・ホイッスル〉はフルートとチェロの曲。NHK交響楽団で大活躍している村井将さんと共演できることは、何より嬉しいことです。そして、私の音大時代の師、甲斐道雄師匠の演奏を私は忘れることができません。「こんなカッコいい曲が存在するのか」と感激しました。昨年亡くなってしまった師匠。3月16日は「何や！その音は（怒）」と天国から怒られないように、精一杯演奏します。

順不同の曲紹介ですが、演奏会の幕開けはシューベルトの〈四重奏曲〉。今から私がワクワクしています。私が楽しみにしています。皆さん、是非お越しください！

柴草幹男

## 3.30 日at 15:00 Duo la Bilancia

## 長澤 順×清水美和 ピアノ・デュオ・リサイタル



ふと旅に出たくなる時があります。観光地や名所を巡るような、いわゆる「旅行」ではなく、思い立ってふらりと出かけ、訪れた土地の人々の暮らしを垣間見るような、その気候風土に触れてみたくなるような、そんな旅です。異文化への興味であったり、ちょっとした逃避行であったり、ただ単に気分を変えたかったり、旅をしたい理由は様々なのですが、非日常を求めていること

に変わりはありません。地図もカメラも持たず、足の向くまま気の向くままの風任せ……。しかし、残念ながらおいそれと日常を放り出すわけにもいかず、大抵は儂い願望のまま終わってしまうのが現実です。

2人でピアノに向かってしていると、つくづく音楽は旅のようだと思います。演奏前の胸の高鳴りは、荷物を鞆に詰め込んでいる時の高揚感に不思議と似ています。未知なる世界への憧れと恐怖が入り混じった冒険の始まり。そして、音やリズムを繰り出すたびに人物や風景がどんどん描かれていき、まるで遠い国を訪ねているような錯覚に囚われます。石畳の朝の街を足早に行き交う人々、たどたどしく踊る青い目の小さなバレ

リーナ、眩しい湖面に揺れる舟、立派な黒髭のヴァイオリン弾き、大きな旗の翻る広場、声高にお喋りする老婦人たちが、次々と浮かんで消えてゆくのです。音だけで綴られてゆくこれらの事象の渦巻きの中で私たちは深く癒され、時に激しく心を打たれ、また時には郷愁に耽ったり衝撃を受けたりしています。そして、それらの心地よい刺激は、旅が終わってしまっても鮮やかな残像となって胸に刻まれます。音楽は、弾き手だけではなく聴き手にも平等に与えられる自由で魅力的な旅。私たちは旅人なのです。皆様の旅が、どうか素敵な旅となりますように。

Duo la Bilancia (長澤 順・清水美和)

1月の  
公演から

2014.1.17 & 19

水戸室内管弦楽団第 89 回定期演奏会

指揮：小澤征爾

ナタリー・シュトゥッツマン

小澤征爾さんとナタリー・シュトゥッツマンさんという2人の指揮者を迎えてお贈りした今回の定期演奏会。シュトゥッツマンさんが指揮をとったメンデルスゾーンの〈フィンガルの洞窟〉と交響曲第4番〈イタリア〉では、指揮棒からほとばしる歌心と、水戸室内管弦楽団(MCO)の緊密なアンサンブルとが、ときにせめぎ合い、ときに融合し、ライブならではの白熱した演奏となった。そして小澤さん渾身のベートーヴェン〈交響曲第4番〉! 2日にわたる公演を通じて、小澤さんがMCOの仲間たちと高らかに奏でた復活の凱歌に、演奏会場のコンサートホールATMでも、その中継映像が大スクリーンに上映されたACM劇場でも、温かく大きな拍手が続いた。「生命」、「躍動」、「感動」——そんな言葉が沢山のアンケートに書き込まれていた。終演後の館内を幸せな空気が満ちた。

演奏会と演奏会間の1月18日(土)には、コンサートホールATMで「MCOメンバーに

よる小中学生吹奏楽クリニック」を開催。小澤征爾さん、堀伝さん、工藤重典さん、フィリップ・トーンドゥルさん、猶井正幸さん、ニール・ディランドさん、デイヴィッド・ヘルツォークさん、ローランド・アルトマンさんが水戸市内小中学校6校の金管バンド部や吹奏楽部に演奏指導を行った。《篠田》

アンケートから■〈フィンガルの洞窟〉も〈イタリア〉も、まるで風景画を観ているようで、その流れるようなメロディ、重厚な響き、小気味良いリズムに感動しました。(東海村:M.S.さん) ■シュトゥッツマンさんの指揮はオーケストラを「歌わせる」演奏。ジョイフルな音楽! また聴きたいです。(土浦市:N.S.さん) ■小澤さんの力演に涙が出そうになりました。どうぞお身体を大切に、長くいつまでも指揮をなさってください。(福島県の方) ■小澤さんの復帰を心待ちにしていました。それが叶い、嬉しいかぎりです。小澤さんの指導を受けられたというシュトゥッツマンさんの指揮も良かった。後進の指導にも多くのエネルギーを注がれるマエストロ・小澤に敬意を表します。体力をつけられて、いつまでも演奏を聴かせてください。(水戸市の方)



1-2: 水戸室内管弦楽団第89回定期演奏会  
3: MCOメンバーによる小中学生吹奏楽クリニック

## 「準・メルクル ヴィオラ貸与プロジェクト」貸与者募集のお知らせ

専属楽団・水戸室内管弦楽団と長年共演している指揮者、準・メルクルさんから寄贈されたヴィオラを貸与いたします。これから演奏家としてさらなる研鑽を積もうとする若者の育成・支援を目的としています。詳細はチラシ等をご覧ください。

【応募資格】下記のいずれかに該当する学生の方(大学院生を含む)

1. 茨城県に本籍を有する
2. 現在、茨城県内に居住している
3. 現在、茨城県内に通学している
4. 過去において茨城県内に居住・通学したことがある

【審査日程・会場】第1次審査(書類選考)

本選(実技審査) 2014年3月1日(土) 14:00(会場コンサートホールATM)

【申込受付期間】2014年2月1日(土)～2月18日(火) 当日必着

【資料請求方法】1. 当館ホームページよりダウンロード

2. 当館エントランスホール・チケットカウンターにて直接入手
3. 80円切手を貼付し返信先を記入した封筒を同封の上、下記宛先まで郵送

【お問い合わせ】水戸芸術館「準・メルクル ヴィオラ貸与プロジェクト」係

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8

TEL 029-227-8118 (担当:高巢・中村)

## 「茨城の名手・名歌手たち 第24回」出演者オーディション

10月11日(土)に開催予定の演奏会に向けて、出演者オーディションを行います。詳細はチラシ等をご覧ください。

【開催日】2014年4月13日(日)

【申込受付期間】2014年3月1日(土)～3月9日(日) [当日必着]

【審査対象部門】管楽器・打楽器・声楽(以上ソロ)、器楽アンサンブル(2～5人まで)

【参加費】1組 2,000円

【資料請求方法】1. 当館ホームページよりダウンロード

2. 当館エントランスホール・チケットカウンターにて直接入手
3. 80円切手を貼付し返信先を記入した封筒と、受験する楽器(編成)を書いたメモを同封の上、下記宛先まで郵送

【お問い合わせ】水戸芸術館音楽部門「茨城の名手・名歌手たち」係

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8

TEL 029-227-8118 (担当:高巢・関根)

## チケット・インフォメーション

### 《2月22日(土) 発売分》

■トルヴェール・クワルテット

5/11(日) 14:00 開演

料金 [全席指定] 一般 ¥3,500 / ユース (25歳以下) ¥1,000

※上記公演には、2/18(火)より財団運営維持委員会、2/19(水)より友の会(一般、法人)会員の先行電話予約がありますので、2/22(土)の一般発売の時点で、券種によってはお客様のご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

## これからの演奏会・残席情報

○…残席あり(20席以上) △…残席わずか(20席未満) ×…残席なし  
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席

◎合唱セミナー 2014(講師:田中信昭)……………2/16(日) 自由席○

◎ちよっとお昼にクラシック 佐藤俊介&鈴木優人……………2/28(金) 中央△、左右○

◎柴草幹男 フルート・リサイタル……………3/16(日) 自由席○

◎ちよっとお昼にクラシック 森麻季(ソプラノ)  
……………3/22(土) 中央×、左右×、裏△、補助×

◎ Duo la Bilancia ピアノデュオ・リサイタル……………3/30(日) 自由席○

◎イアン・ポストリッジ テノール・リサイタル……………4/17(木) 中央○、左右○

※1/28(火) 現在の状況です。

※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

## 水戸芸術館の主な3月のスケジュール

### コンサートホール ATM

■水戸市立三の丸小学校 東関東吹奏楽コンクール出場記念演奏会

3/2(日) 15:00 開演 入場無料

■柴草幹男 フルート・リサイタル

3/16(日) 14:00 開演 料金 [全席自由] 一般 ¥3,000 / 学生 ¥1,000

■ちよっとお昼にクラシック 森麻季(ソプラノ)

3/22(土) 13:30 開演 料金 [全席指定] ¥1,500 (1ドリンク付き)

■ Duo la Bilancia ピアノデュオ・リサイタル

3/30(日) 15:00 開演 料金 [全席自由] 一般 ¥3,000 / 学生 ¥1,500

### エントランスホール

■プロムナード EXTRA

3/15(土) 吉田美菜子(箏) 12:00～/ 13:30～ (各回30分程度) 入場無料

■パイプオルガン・プロムナード・コンサート スペシャル

3/21(金・祝) 福本茉莉 13:00～のみ (50分程度) 入場無料

■「市民のためのオルガン講座」実技レッスン受講生による発表会

3/29(土) 13:00～のみ (50分程度) 入場無料

### ACM 劇場

■ACM Bookmobile ゆうくとマットさんの「ぼくは王さま」

『しゃぼん玉 de くびかざり Re-mix』

3/8(土) 16:00 開演、3/9(日) 11:00 / 15:00 開演

料金 [全席指定] 大人 ¥1,500 / 子ども(3歳から小学6年生) ¥800

■平成25年度「水戸子どもミュージカルスクール」発表公演 『ここは命の星』

3/22(土) 16:00 開演、3/23(日) 13:00 開演

料金 [全席指定] 大人 ¥1,500 / 子ども(3歳から小学6年生) ¥800

### 現代美術ギャラリー

■拡張するファッション

2/22(土)～5/18(日) 9:30～18:00 ※入場は17:30まで

[休館日] 月曜日 ※ただし5/5(月・祝)は開館

[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体(20名以上) ¥600

※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料

■高校生ウィーク2014

3/9(日)～4/6(日) ※入場は17:30まで

[カフェ開場時間] (火・金) 15:00～18:00 / (土日・祝) 13:00～18:00

[カフェ会場] ギャラリー内ワークショップ室 [無料招待対象] 高校生または15歳～18歳の方

※学生証または年齢がわかる証明書をご提示ください。

## チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000

営業時間: 9:30～18:00(月曜休館)

## 公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118

ホームページ <http://artowermio.or.jp/>

公式ブログ <http://concerthallatm.blog101.fc2.com/>

ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場

twitter @ConcertHall\_ATM

## 編集後記

普段は紅茶派の私。ですが、「淹れてもらうコーヒーは好き」と話した事を覚えていた友達がふるまってくれました。ミルで豆を挽く(!)音に癒され、待つ時間も賢況。もちろん美味しいコーヒーでした。ごちそうさま。(り)

実業も全部落ち、寂しかった木々。まだ蕾もなっていないその枝が、所々ぶっくりと膨らみ始め、何とも言えぬ柔らかさに包まれる様に春の訪れを感じる。今年もそろそろ観梅の季節だ。今年は綺麗に咲くだろうか。(og)

トルヴェール・クワルテットの公演チラシは「SFっぽい感じで」とお願いしてデザインを作っていました。アシモフ、クラーク、ディック……。読みたい古典、名作は山ほどあるけど、なかなか読めず。嗚呼。(篠)

最近規則正しい生活をしている気がする。濃密なMCO期間中も、朝は犬の散歩とディスクの練習を欠かさなかったし、夜はなるべく早く寝た。おかげで調子がいいみたい。このまま花粉の季節を乗り切ればいいのだが。(て)

MCOティンパニ奏者、アルトマン氏は現代アート好き。ダレン・アーモンド展も水戸滞在中に一時間かけて楽しんだとか。氏いわくアートは「まず見てみる。好き嫌いの判断はその後!」達人は開かれた感性の持ち主。(樹)

小澤館長の2年ぶりのMCO公演。その音楽への純粋な情熱が、MCOのメンバー全員に伝播して、心震える演奏が繰り広げられた。小澤館長を中心に、演奏家たちのひたむきな想いが集結した、奇蹟のようなステージだった。(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]

2014年3月発行 第185号

編集発行: 水戸芸術館音楽部門

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8

TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130

E-MAIL [ankmr@artowermio.or.jp](mailto:ankmr@artowermio.or.jp)

URL <http://artowermio.or.jp/>

編集: 水戸芸術館音楽部門(五十音順) / 石井亮子

大金絢子 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃

デザイン: 大金絢子

印刷所: 山三印刷株式会社